



チューモくん日記 #卒業生インタビュー3 (1回目)

秋田県立視覚支援学校オリジナルキャラクターのチューモくんです。「チューモくん日記」では、本校やその周辺のことについて語っていきます。

今回は、平成27年度に本校高等部専攻科理療科を卒業した吉田有沙さんが、中学部3年生の進路学習で話した内容を再構成したものの4回中の1回目です。

チューモくん：今日は、忙しい中、学校に来ていただきありがとうございました。
まずは、御自身のこれまでのことと、現在の仕事について紹介してください。

吉田：私は、高校1年の頃から、教育相談で秋田県立盲学校（当時）にお世話になっていましたけれど、いよいよ見えにくくなって、高校3年のときに高等部普通科3年に編入しました。その後、専攻科理療科に進学して、終了後は、福岡県立福岡高等視覚特別支援学校高等部専攻科研修科再研修コースで勉強しました。その後、東京方面でヘルスキーパー（企業内理療師）をしましたが、4年前から、東京方面にあるテーマパークで、ヘルスキーパーとして働いています。

チューモくん：どうやって、そのテーマパークに勤めることになったのですか？

吉田：前の仕事を辞めて半年くらい仕事をしていなかったある時、以前から働いてみたいと憧れていた現在の勤務先に、ダメ元で「面接してもらえませんか？」とメールを送ったんです。そうしたら、採用につながりました。

チューモくん：自分から、積極的にアピールしていったんですね。

吉田：はい。今は、3人のスタッフと仕事をしています。

チューモくん：なるほど・・・。

チャンスを逃さず、自分から積極的に売り込んでいったことが、
現在の仕事につながっているそうです。自分が、何をしたいのか、
どんな働き方をしたいのかを考えて行動していくことは大事です
ね。

